

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	広島商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	商船学科 航海コース		—	2	5	7	7	—
	商船学科 機関コース				5	7	7	—
	電子制御工学科				6	8	7	—
	流通情報工学科				5	7	7	—
	海事システム工学専攻				8	8	7	—
	産業システム工学専攻				8	8	7	—
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/admissions/scholar.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	広島商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/NewFolder/yakuinmeibo\(20200401\).pdf](https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/NewFolder/yakuinmeibo(20200401).pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	熊本大学長	2016年4月1日～ 2024年3月31日	理事長
常勤	豊橋技術科学大 学理事・副学長	2020年4月1日～ 2022年3月31日	研究・産学連携 情報システム
非常勤	東京大学教授	2014年4月1日～ 2022年3月31日	男女共同参画推進
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画(シラバス)は国立高等専門学校機構のモデルコアカリキュラムに基づき到達目標、ルーブリック、教育方法、授業評価および評価割合を記載したものを作成し、教務委員会にて確認のうえ、Web上で公開している。シラバスは下記過程で作成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月 次年度の授業計画を作成し、基本データを作成 ・1月末 各教員が担当授業のシラバスを作成 ・4月1日 シラバスのWeb公開 	
授業計画書の公表方法	http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/student/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>広島商船高等専門学校学則および広島商船高等専門学校教育規則に基づき単位認定および進級卒業認定の条件を定めており、シラバスに公表された基準により成績評価を行っている。また、単位認定および進級卒業判定にあたり学内会議を開催し、全教員にて審議のうえ認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>広島商船高等専門学校教育規程の成績評価基準に基づき各科目の定期試験等の結果を100点法により評価している。各科目の評価点を元に下記方法により平均点および学年順位を算出している。</p> <p>【平均点および学年順位の算出方法】 学生が1年間に履修した科目を各々100点法により評価し、評価点の和を履修科目数の和で割り、学生毎に全履修科目の平均点を算出する。算出された平均点を元に学年、学科・コース別の成績順位付けを行う。成績順位付けは前期末及び学年末の成績毎に行う。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/admissions/scholar.html
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本科および専攻科のディプロマ・ポリシーに基づき、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を習得した学生に対して卒業・修了認定会議を経て、校長が卒業・修了を認定している。</p> <p>【本科】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 豊かな心、生きる力および規範意識の育成（人間力と規範意識） (2) 地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成（広い視野と素養） (3) 基礎科学や情報処理の知識・技術の習得（基礎科学と情報技術） (4) 専門的知識・技術とその活用力の習得（知識・技術とその応用） (5) 社会に貢献できる創造力と実践力の育成（実践と創造） <p>【専攻科】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 豊かな人間性と社会的責任感の育成（人間性と社会貢献） (2) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルの養成（コミュニケーション能力） (3) 基礎科学と情報技術の修得とその活用（知識・技術とその活動） (4) 専門的知識・技術の確立と発展的応用（専門性とその拡充） (5) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力の育成（創造性と探求心） 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	広島商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf
財産目録	
事業報告書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/H30jigyohokokusho1.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kanjiikenH30.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:令和2年度)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/nendo-R2.pdf
中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画 対象年度:平成31年(2019年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/chuukikeikaku-4th.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/release/plan.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/release/hyoka.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 商船学科 (航海コース・機関コース)
教育研究上の目的 (公表方法： http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/faculty/shosen/) http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)
(概要) 商船学科は、船舶の運航や管理に関わる知識と技術を身につけ、世界の海で活躍できる海事技術者を育てることを目的としている。航海コース及び機関コースを設置している。 【航海コース】 航海コースでは、貴重な人命、高価な荷物、財産でもある船を、安全かつ経済的に目的地まで運ぶ重要な任務を果すための、判断力や責任感などを養う。船の運航技術を学ぶことで、船舶の運航以外にも、港湾管理や陸上の流通分野、海事関連産業においても広く活躍できる人材を育成する。 【機関コース】 機関コースでは、船舶が目的地に確実に到着するため、船舶の推進装置をはじめ、衣食住に関わる全ての機器についての構造や特徴、危機管理と安全意識などを学ぶ。これらの機器に関する安全運転や維持・管理に必要な知識と技術をもとに、海上だけでなく陸上企業等の様々なフィールドで活躍できる人材を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)
(概要) 本科のディプロマ・ポリシーに基づき、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を習得した学生に対して卒業・修了認定会議を経て、校長が卒業・修了を認定している。 (1) 豊かな心、生きる力および規範意識の育成 (人間力と規範意識) (2) 地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成 (広い視野と素養) (3) 基礎科学や情報処理の知識・技術の習得 (基礎科学と情報技術) (4) 専門的知識・技術とその活用力の習得 (知識・技術とその応用) (5) 社会に貢献できる創造力と実践力の育成 (実践と創造)
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html /)
(概要) 【各学科共通】 人文・社会・自然科学の基礎知識を修得し、人間力・規範意識および広い視野・素養を身につけて地域や国際社会で活躍できる人を目指す。 【商船学科 (航海コース・機関コース)】 船舶の運航や管理に関わる知識と技術を身につけ、世界の海で活躍できる海事技術者を育てる。三級海技士を取得し、さらには二級海技士、一級海技士の筆記試験合格を目指す。

<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/admissions/)</p>
<p>(概要) 本校の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針を下記に定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校で学習した基礎学力が身につけている人 (学力の評価) ・ 学校の行事、生徒会や部活動に努力した人 (活動努力の評価) ・ 自ら考え、工夫し行動できる人 (活動成果の評価) ・ 将来、社会で活躍したいという夢のある人 (志願動機の評価)

<p>学部等名 電子制御工学科</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/faculty/denshi/ http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)</p>
<p>(概要) 電子制御工学科は、電子制御に関わる下記の基本的な知識と技術を身につけ、高度工業化社会において活躍できる実践的メカトロニクス技術者を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電気・電子、機械、計測・制御、情報の4分野に関わる基礎知識を修得する。 2. 電気・電子回路、機械加工、コンピュータ制御に関する基礎技術を身につける。 3. 「ものづくり」実習や卒業研究に取り組み、実践的技術力や創造力を身につける。
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)</p>
<p>(概要) 本科のディプロマ・ポリシーに基づき、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を習得した学生に対して卒業・修了認定会議を経て、校長が卒業・修了を認定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 豊かな心、生きる力および規範意識の育成 (人間力と規範意識) (2) 地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成 (広い視野と素養) (3) 基礎科学や情報処理の知識・技術の習得 (基礎科学と情報技術) (4) 専門的知識・技術とその活用力の習得 (知識・技術とその応用) (5) 社会に貢献できる創造力と実践力の育成 (実践と創造)
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)</p>
<p>(概要) 【各学科共通】 人文・社会・自然科学の基礎知識を修得し、人間力・規範意識および広い視野・素養を身につけて地域や国際社会で活躍できる人を目指す。</p>

<p>【電子制御工学科】 電子制御に関わる基本的な知識と技術を身につけ、高度工業化社会において活躍できる実践的メカトロニクス技術者を目指す。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/admissions/)</p>
<p>(概要) 本校の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針を下記に定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で学習した基礎学力が身につけている人（学力の評価） ・学校の行事、生徒会や部活動に努力した人（活動努力の評価） ・自ら考え、工夫し行動できる人（活動成果の評価） ・将来、社会で活躍したいという夢のある人（志願動機の評価）
<p>学部等名 流通情報工学科</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/faculty/ryutsu/ http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)</p>
<p>(概要) 流通情報工学科は、流通・ビジネス系または情報・通信系に関わる基本的な知識と技術を身につけ、ICT社会において活躍できるビジネスパーソンまたは情報技術者を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報基礎、データ解析・統計、経営などのビジネス分野の基礎知識を修得する。 2. 流通・ビジネス系では、物流、会計、経営、市場、管理などのビジネス分野の専門知識・技術を身につける。 3. 情報系では、ソフトウェア、システム、ネットワークなど、情報分野の専門知識・技術を身につける。 4. ビジネススキル・マナーの実技や卒業研究に取り組み、管理能力や課題解決能力を身につける。
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)</p>
<p>(概要) 本科のディプロマ・ポリシーに基づき、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を習得した学生に対して卒業・修了認定会議を経て、校長が卒業・修了を認定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 豊かな心、生きる力および規範意識の育成（人間力と規範意識） (2) 地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成（広い視野と素養） (3) 基礎科学や情報処理の知識・技術の習得（基礎科学と情報技術） (4) 専門的知識・技術とその活用力の習得（知識・技術とその応用） (5) 社会に貢献できる創造力と実践力の育成（実践と創造）
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)</p>

<p>(概要)</p> <p>【各学科共通】 人文・社会・自然科学の基礎知識を修得し、人間力・規範意識および広い視野・素養を身につけて地域や国際社会で活躍できる人を目指す。</p> <p>【流通情報工学科】 流通・ビジネス系または情報・通信系に関わる基本的な知識と技術を身につけ、ICT社会において活躍できるビジネスパーソンまたは情報技術者を目指す。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/admissions/)</p>
<p>(概要) 本校の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針を下記に定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で学習した基礎学力が身についている人（学力の評価） ・学校の行事、生徒会や部活動に努力した人（活動努力の評価） ・自ら考え、工夫し行動できる人（活動成果の評価） ・将来、社会で活躍したいという夢のある人（志願動機の評価）

<p>学部等名 海事システム工学専攻</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/faculty/senko.html http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)</p>
<p>(概要) 高専5年間で学んだ高度な技術教育の上に、さらに幅広いものの見方、新しい先端技術について教育を行い、優れた問題解決型・創造型技術者を育成する。</p> <p>【海事システム工学専攻】 海事に関する幅広い知識や技術を持ち、マネジメント能力も兼ね備えた人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)</p>
<p>(概要) 専攻科のディプロマ・ポリシーに基づき、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を習得した学生に対して卒業・修了認定会議を経て、校長が卒業・修了を認定している。</p> <p>【専攻科】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 豊かな人間性と社会的責任感の育成（人間性と社会貢献） (2) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルの養成 （コミュニケーション能力） (3) 基礎科学と情報技術の修得とその活用（知識・技術とその活動） (4) 専門的知識・技術の確立と発展的応用（専門性とその拡充） (5) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力の育成（創造性と探求心）

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)</p> <p>(概要) 海事に関わる幅広い知識・技術を持ち、海上輸送に関わるシステムの技術開発やマネジメントができる人材を目指す。</p> <p>1. 海上輸送、港湾、法規立どの船舶運航分野又は熱機関、電気機械、設計などの船舶機関分野に加え、安全、環境、社会工学分野の知識・技術を修得し、海上給送に関わる新技術の開発やマネジメントの能力を身につける。</p> <p>2. 特別研究に取り組み、変化する社会や産業の状況を把握して課題を発見し、その解決策を計画して実行するとともに、その結果を検証する能力を身につける。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/admissions/)</p> <p>(概要) 本校の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針を下記に定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの専門分野の知識・技術の基礎学力を備えている人 ・これまでに修得した専門分野以外の幅広い産業分野への興味を持っている人 ・コミュニケーション能力を身につけ、地域や国際社会で活躍できる専門的職業人を目指す人 ・科学技術に対する強い探求心を持ち、積極的に開発・研究に取り組みたい人
<p>学部等名 産業システム工学専攻</p> <p>教育研究上の目的 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/faculty/senko.html http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)</p> <p>(概要) 高専5年間で学んだ高度な技術教育の上に、さらに幅広いものの見方、新しい先端技術について教育を行い、優れた問題解決型・創造型技術者を育成する。</p> <p>【海事システム工学専攻】 電子制御または、流通・経営システムに関するより高度な知識や技術を持ち、マネジメントのできる人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html)</p> <p>(概要) 専攻科のディプロマ・ポリシーに基づき、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を習得した学生に対して卒業・修了認定会議を経て、校長が卒業・修了を認定している。</p> <p>【専攻科】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 豊かな人間性と社会的責任感の育成（人間性と社会貢献） (2) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルの養成 （コミュニケーション能力） (3) 基礎科学と情報技術の修得とその活用（知識・技術とその活動）

<p>(4) 専門的知識・技術の確立と発展的応用（専門性とその拡充）</p> <p>(5) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力の育成（創造性と探求心）</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>（公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal.html）</p> <p>（概要）</p> <p>【電子制御工学系】</p> <p>電子制御に関わる下記の高度な知識・技術を持ち、制御機器・システムの技術開発や管理ができる人材を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電気・電子、機械、計測、制御、情報などの電子制御分野に加え、安全、環境、社会工学分野の知識・技術を修得し、制御機器・システムの開発や運用の能力を身につける。 2. 特別研究に取り組み、変化する社会や産業の状況を把握して課題を発見し、その解決策を計画して実行するとともに、その結果を検証する能力を身につける。 <p>【流通情報工学系】</p> <p>経営や情報に関わる下記の高度な知識・技術を持ち、流通や物流の技術開発やマネジメントができる人材を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物流、輸送・交通工学、マーケティング、コスト・マネジメントなど流通・社会工学分野に加え、安全、環境に関わる知識・技術を修得し、流通・社会システムの開発やマネジメントの能力を身につける。 2. 特別研究に取り組み、変化する社会や産業の状況を把握して課題を発見し、その解決策を計画して実行するとともに、その結果を検証する能力を身につける。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>（公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/admissions/）</p> <p>（概要）</p> <p>本校の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針を下記に定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの専門分野の知識・技術の基礎学力を備えている人 ・これまでに修得した専門分野以外の幅広い産業分野への興味を持っている人 ・コミュニケーション能力を身につけ、地域や国際社会で活躍できる専門的職業人を目指す人 ・科学技術に対する強い探求心を持ち、積極的に開発・研究に取り組みたい人

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/soshiki.html</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	8人	—					8人
一般教科	—	3人	7人	3人	1人	0人	14人
商船学科	—	3人	4人	1人	3人	0人	11人
電子制御工学科	—	2人	4人	0人	3人	0人	9人
流通情報工学科	—	0人	6人	1人	1人	0人	8人
広島丸	—	0人	2人	0人	2人	0人	4人
海事システム工学専攻	—	0人	0人	0人	0人	0人	0人
産業システム工学専攻	—	0人	0人	0人	0人	0人	0人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
—			10人				10人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/faculty/ https://research.kosen-k.go.jp/researcher-list/?page=1&limit=30&affiliationId=6660000000					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
商船学科	40人	41人	102.5%	240人	257人	107.1%	若干名	—人
電子制御工学科	40人	42人	105.0%	200人	214人	107.0%	若干名	2人
流通情報工学科	40人	42人	105.0%	200人	204人	102.0%	若干名	—人
合計	120人	125人	104.2%	640人	675人	105.5%	若干名	—人
海事システム工学専攻	4人	4人	100.0%	8人	6人	75.0%	—	—
産業システム工学専攻	8人	7人	87.5%	16人	13人	81.3%	—	—
合計	12人	11人	91.7%	24人	19人	79.2%	—	—
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
商船学科	38人 (100%)	9人 (23.7%)	29人 (76.3%)	0人 (0.0%)
電子制御工学科	42人 (100%)	8人 (19.0%)	34人 (81.0%)	0人 (0.0%)
流通情報工学科	40人 (100%)	6人 (15.0%)	33人 (82.5%)	1人 (2.5%)
合計	120人 (100%)	23人 (19.2%)	96人 (80.0%)	1人 (0.8%)
海事システム工 学専攻	4人 (100%)	0人 (0.0%)	4人 (100%)	0人 (0.0%)
産業システム工 学専攻	9人 (100%)	0人 (0.0%)	7人 (77.8%)	2人 (22.2%)
合計	13人 (100%)	0人 (0.0%)	11人 (84.6%)	2人 (15.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)	
授業計画（シラバス）は国立高等専門学校機構のモデルコアカリキュラムに基づき到達目標、ルーブリック、教育方法、授業評価および評価割合を記載したものを作成し Web 上で公開している。シラバスは下記過程で作成している。	
・ 12 月	次年度の授業計画を作成し、基本データを作成
・ 1 月末	各教員が担当授業のシラバスを作成
・ 4 月 1 日	シラバスの Web 公開

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)	
本科および専攻科のディプロマ・ポリシーに基づき、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を習得した学生に対して卒業および修了を認定している。	
【本科】	
<ol style="list-style-type: none"> (1) 豊かな心、生きる力および規範意識の育成（人間力と規範意識） (2) 地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成（広い視野と素養） (3) 基礎科学や情報処理の知識・技術の習得（基礎科学と情報技術） (4) 専門的知識・技術とその活用力の習得（知識・技術とその応用） (5) 社会に貢献できる創造力と実践力の育成（実践と創造） 	
【専攻科】	
<ol style="list-style-type: none"> (1) 豊かな人間性と社会的責任感の育成（人間性と社会貢献） (2) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルの養成（コミュニケーション能力） (3) 基礎科学と情報技術の修得とその活用（知識・技術とその活動） (4) 専門的知識・技術の確立と発展的応用（専門性とその拡充） (5) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力の育成（創造性と探求心） 	

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	商船学科 航海コース	147 単位	有・無	単位
	商船学科 機関コース	147 単位	有・無	単位
	電子制御工学科	167 単位	有・無	単位
	流通情報工学科	167 単位	有・無	単位
	海事システム工学専攻	62 単位	有・無	単位
	産業システム工学専攻	62 単位	有・無	単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/building.html
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
—	商船学科	234,600 円	84,600 円	約 92,000 円	
	電子制御工学科				
	流通情報工学科				
—	海事システム工学 専攻	234,600 円	84,600 円	約 12,000 円	
	産業システム工学 専攻				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金の案内及び授業料減免等の支援を実施 ・留学生・編入学生に加え、原級留置者や休学からの復学者及び懲戒処分を受けた学生に対する就学・生活上の支援を、クラス担任・副担任、主事・主事補、学科長・専攻科長等との綿密な連携により組織的な支援を実施
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・OB・OG による講演開催 ・学内での合同企業説明会開催 ・インターンシップの単位制導入
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・全学生に対し「学校適応感尺度調査」を実施し、心身の健康等を把握し、関係教職員及び各科で共有し、学生への支援活動を実施。 ・教員を対象にしてメンタルヘルス・ハラスメントについての研修を実施。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : http://www.hiroshima-cmt.ac.jp/release/research/
--